

床仕上げの異なるプレイルームにおける乳幼児の遊び行為

—床仕上げとコーナー配置の異なる子育て支援施設の使われ方の比較研究 その2—

子育て支援
使われ方

床仕上げ
フローリング
コーナー
畳

正会員 ○岡崎 紗矢*
正会員 伊藤 優里**
正会員 山本 幸子***
正会員 中園 真人****

1. 序論

前報では、2014年4月時点で山口県内に開設されていた子育て支援施設140箇所のうち、アンケートの回答のあった102施設を対象に、建物形式・規模と施設の床仕上げの関係を論じた。その結果、主なプレイルームの床仕上げとして、フローリングのみを用いた施設と、フローリングと畳の2種類を用いた施設がみられ、事例分析により施設毎にプレイルーム内の乳幼児の遊びの場に対する考え方に相違があるものと推測された。

そこで本論では、床仕上げとしてフローリングのみ、又はフローリングと畳を用いた施設を1事例ずつ選定し、乳幼児の発達段階と遊びの行為に着目してプレイルームの使われ方を比較分析することにより、床仕上げの違いやコーナー設定が遊びの行為にどう影響しているのかを明らかにすることを目的とする。

2. 調査概要

調査施設は、発達段階の異なる乳幼児と親が同じ空間に滞在している状況で行うために、プレイルームがワンルーム空間である施設を選定した。調査対象は、フローリングのみを用いている大分県大分市の「大南こどもルーム」と、フローリングと畳の2種類を用いている広島県呉市の「呉市すこやか子育て支援センター ひろひろ・ば（以下ひろひろ・ば）」である。調査内容は、利用者（親子）及びスタッフを対象とし、終日10分間隔で平面図に滞在場所・動線・行為内容の記録及びデジタルカメラによる撮影を行い、行動観察調査を実施した。調査期間は2014年11月27～29日（ひろひろ・ば）、2015年10月28～31日（大南こどもルーム）である。

3. 施設概要

3.1 立地状況と空間構成

「大南こどもルーム」のプレイルーム内におけるコーナー配置を図1に示す。施設は大分市の郊外に位置し、大南市民センターが新築する際に建物の2階に設置された。駐車場は市民センターと共用で、30台以上が駐車可能である。プレイルーム面積は89.50㎡で、フローリングにマットを配置して壁際に「乳児」「絵本」「複数玩具」コーナーを設け、プレイルーム中央には動的な遊

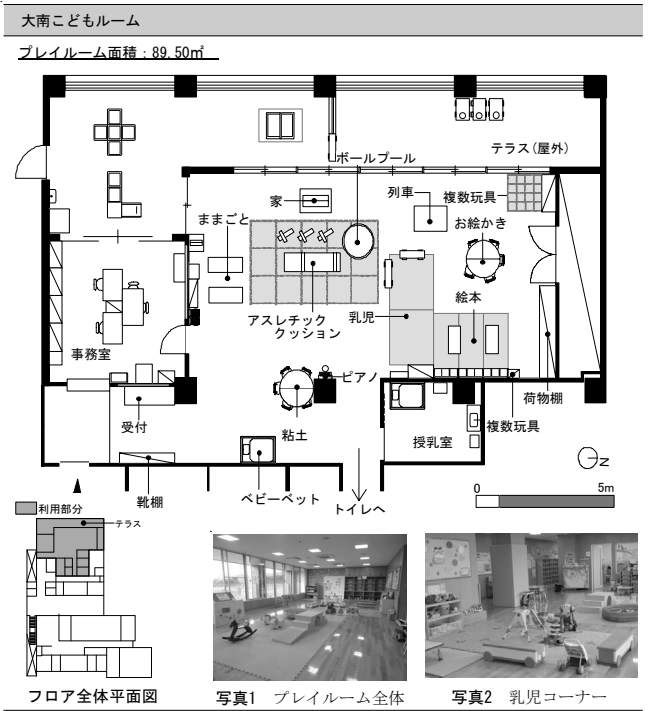


図1 大南こどもルームのコーナー配置



図2 ひろひろ・ばのコーナー配置

びの場として「アスレチック」コーナーを設けている。また、テーブルや椅子を利用し、「ままごと」「列車」「お絵かき」「粘土」コーナーを設けている。

次に「ひろひろ・ば」のコーナー配置を図 2 に示す。施設は、呉市の JR 呉線新広駅より徒歩 1 分の場所に位置しており、「大南子どもルーム」と同様に市民センターを新築する際に建物の 3 階に設置された。駐車場は広市民センターと共用である。プレイルームのコーナー配置は、開設時にワークショップを開催して、利用者と共に玩具・家具の選定を行って決定している。プレイルーム面積は 190.61 m²で、フローリングスペース：141.09 m²と畳スペース：49.52 m²が設けられている。フローリングスペースには、デンやテント、「ままごと」「絵本」コーナー等と全体的に細かくコーナーが設定されている。一方畳スペースは、「書籍」「ぬいぐるみ」コーナー等を壁際に配置し、中央には広いオープンスペースを設けている。

3.2 施設の運営形態

調査期間中のスタッフ及び利用者の数を表 1 に示す。「大南子どもルーム」では、1 日平均 15 組、35 名の親子が来所しており、そのうち子どもの人数は親よりも平均で 8 名程度多く、兄弟での利用がみられる。スタッフは 1 日 2,3 名が勤務している。「ひろひろ・ば」では、「大南子どもルーム」よりも利用者が多く、1 日平均 28 組、62 名の親子が来所している。スタッフは 1 日に約 5 名が勤務している。

施設の 1 日の基本的な流れとして、「大南子どもルーム」の例を図 3 に示す。開館日時は月～土の 9：30～17：30 で、利用料は無料である。通常開館日には、プログラムは決められておらず、利用者は好きな時間に来所して自由に過ごす場となっている。施設内では、おもちゃでの遊びに加え、スタッフや他の利用者との交流が行われている。昼食時間は設けられておらず、利用者は施設の外や自宅等で昼食をとる。スタッフは、基本的に終日勤務 1 名、午前・午後勤務が各 1 名となっている。次に、「ひろひろ・ば」の開館日は月～土で、開館時間は曜日によって異なり、月～金は 9：00～17：00、土曜日は 9：00～12：00 となっている。1 日の流れは、「大南子どもルーム」と同様に利用料も無料であるが、スタッフはプレイルームに交代で常時 1 名が滞在し、他スタッフは隣接する事務室で事務作業を行っている。

4. コーナーと遊び行為の関係

4.1 遊び行為の分類

自由遊びの際に観察された授乳・トイレ等の生活行為と、単なる移動以外の全てを遊びの行為と捉え、「走り回る」「ほふく」等の遊びと名前がつかないものも含めた。そして西本らの研究¹⁾を参考に、抽出したプレイルームでの乳幼児の遊び行為を 9 種類に分類した(表 2)。調査

表 1 調査期間中の利用者・スタッフ人数

対象施設	調査日	利用者			利用者 合計人数	スタッフ 人数	合計 人数
		親子 組数	親	子ども			
大南子ども ルーム	10月28日(水)	13	9	15	24	2	26
	10月29日(木)	17	19	23	42	3	45
	10月30日(金)	7	7	11	18	3	21
	10月31日(土)	21	19	38	57	2	59
	平均	14.5	13.5	21.8	35.3	2.5	37.8
ひろひろ・ ば	11月27日(木)	28	30	28	58	5	63
	11月28日(金)	34	34	39	73	5	78
	11月29日(土)	24	25	30	55	4	59
	平均	28.7	29.7	32.3	62.0	4.7	66.7

注1)大南子どもルームの10月29日は10:30～11:30まで別室でイベントが行われていた。

注2)ひろひろ・ばの11月29日は、12:00までの開館であった。

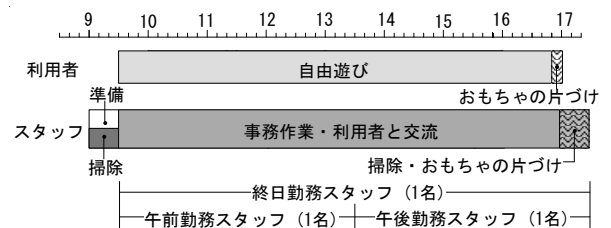


図 3 1 日の基本的な流れ (大南子どもルーム)

表 2 遊び行為の分類

遊び行為	遊び行為の内容	遊び行為の例
運動	体を動かして楽しむ遊び	かけ回る/ハイハイ/登る/滑る/ボール/乗り物/ごろごろする
ゲーム	ある決められたルールにそって遊ぶ	パズル/型はめ/コースター
音楽	音を出して楽しむ遊び	ピアノを弾く/ガラガラ
受容	ものを鑑賞する遊び	絵本/音楽を聴く
構築	ものを積み上げ構築する遊び	積み木/ブロック
制作	いろいろな形・ものをつくる遊び	お絵かき/粘土/工作
操作	ものをあるものに見立てて楽しむ遊び	ぬいぐるみ遊び/ミニカー遊び
模倣	日常のできごとを真似して楽しむ遊び	ままごと/買い物/電車ごっこ
その他	遊びとは直接関係しない行為	もの探す/ぼんやりする/徘徊

表 3 事例選定日と遊び行為の回数

対象施設	対象日	観察時間	記録回数	子どもの 合計人数	行為数
大南子どもルーム	2015/10/29	450分	45回	23人	139
ひろひろ・ば	2014/11/27	480分	48回	28人	180

期間のうち、1 日の利用者が平均値に近かった調査日を選定し、遊び行為の回数を抽出した(表 3)。遊び行為は、10 分おきの記録による場面の中で、乳幼児一人ひとりの行為を全て抽出したものであり、複数の乳幼児がいればその人数分の行為が抽出されている。「大南子どもルーム」は 10 月 29 日を選定し、開館時間 450 分のうちに来所した計 23 名の乳幼児の遊びを 139 行為抽出した。同様に「ひろひろ・ば」は 11 月 27 日を選定し、開館時間 480 分のうちに来所した計 28 名の遊びを 180 行為抽出した。

4.2 年齢別のコーナー滞在率

各施設における年齢別のコーナー滞在率^{注2)}を図4に示す。「大南こどもルーム」では、0歳児は半数以上が「乳児」コーナーに滞在しており、他にも「絵本」「複数玩具」コーナーといったマットが設置されている場所での滞在もみられた。1歳児は「絵本」コーナーでの滞在が3割近くと最も多く、「ままごと」「ピアノ」「乳児」「絵本」コーナー等の滞在率も2割程度みられた。2歳児は「複数玩具」コーナーの滞在が最も多いが、「乳児」コーナーにおいても1割程度の滞在がみられ、0,1歳児と同じ場所で遊んでいることがわかる。3歳児も同様に、「乳児」コーナーでも滞在していた他、「ピアノ」コーナー以外での滞在も1~3割程度みられた。

「ひろひろ・ば」では、0歳児は畳スペースにおいてコーナーとして設定されていない場所での滞在が4割と最も多く、フローリングスペースの「ままごと」コーナーでの滞在も2割みられた。1歳児はフローリングスペースにおいて「ままごと」コーナーの滞在が約3割と最も多く、次いで「複数玩具①」「乗り物」コーナーでの滞在が1割前後みられた。2歳児は、「絵本」「ままごと」コーナーの静的な遊び場の他、「クッションブロック」コーナー等の動的な遊び場での滞在もみられた。また2施設とも、0歳児以外の「乳児」コーナー又は畳スペースでの滞在は1割未満と少なく、年齢による滞在场所の違いがみられた。

4.3 コーナー別の遊び行為

コーナー毎に実際に行われた遊び行為を分類し、表4に示す。「大南こどもルーム」では、「ままごと」コーナーにおいて1歳児以上で専用の遊びが多く見られる。「乳児」コーナーでは、玩具を使用した遊びではないが、0歳児のほふく等の「運動遊び」が19行為行われ、コーナー設定趣旨との一致がみられた。また、1歳児以上においては「乳児」コーナーに設置されたボールを落とすおもちゃ等での「ゲーム遊び」での利用が多くみられた。また、「絵本」コーナーにおいても、「ゲーム遊び」が多く、専用の「受容遊び」はほとんどなされていない。一方、「アスレチック」「ボールプール」コーナーといった大型遊具においては、利用は少ないもののほぼ全ての年齢において専用の遊びがされていた。

「ひろひろ・ば」では、畳スペースの「その他」のスペースにおいて0歳児のほふく等といった「運動遊び」が主にみられた。また、1,2歳児についてはテーブルを利用した「模倣遊び」や「音楽遊び」等の行為がみられた。そしてフローリングスペースでは、家具とマットによって設定されている「ままごと」コーナーにおいて0~2歳児の「模倣遊び」が多くみられた。「乗り物」「クッションブロック」コーナーはコーナーが隣接しているが、各コーナーをクッションで明確に区切っているため、両者とも主に専用の遊びがされている。

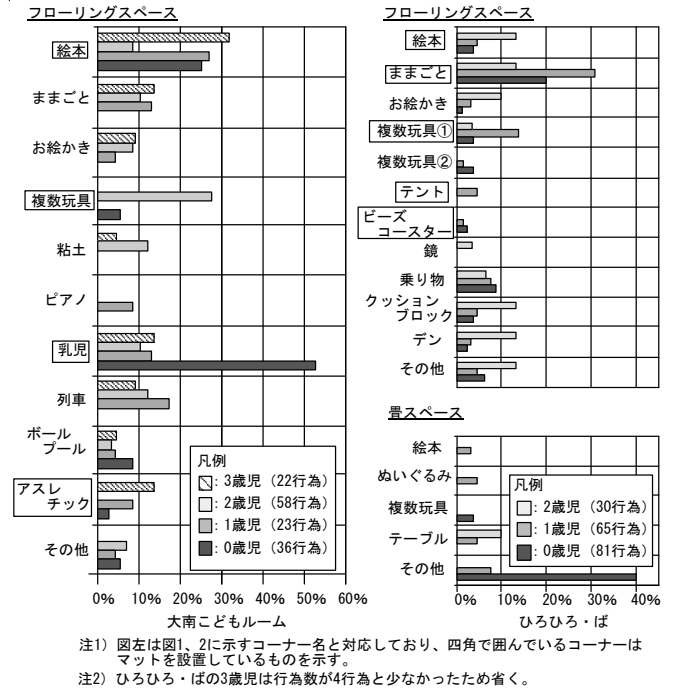


図4 年齢別のコーナー滞在率

表4 コーナー別の遊び行為

施設名	床仕上げ	コーナー	子どもの年齢別行為							
			0歳		1歳		2歳		3歳以上	
			回数	種類	回数	種類	回数	種類	回数	種類
大南こどもルーム	フローリング	絵本	9	運:6 受:3	6	ゲ:6	5	ゲ:5	7	ゲ:5 受:2
		ままごと			3	模:3	6	摸:6	3	操:1 摸:2
		お絵かき			1	制:1	5	受:1 制:4	2	制:1 操:1
		複数玩具	2	運:2			16	制:1 操:15		
		粘土					7	制:7	1	制:1
		ピアノ			2	音:2				
		乳児	19	運:19	3	ゲ:3	6	運:1 ゲ:5	3	ゲ:3
		列車			4	制:1 操:3	7	操:7	2	操:2
		ボールプール	3	運:3	1	運:1	2	運:2	1	運:1
		アスレチック	1	運:1	2	運:2			3	運:2 摸:1
その他	2	他:2	1	他:1	4	ゲ:1 操:1 他:1				
合計	36		23		58		22			
ひろひろ・ば	フローリング	絵本	3	受:3	3	受:3	4	ゲ:2 受:2		
		ままごと	16	摸:16	20	運:1 操:1 摸:18	4	模:4		
		お絵かき	1	制:1	2	ゲ:1 制:1	3	受:1 制:2		
		複数玩具①	3	ゲ:2 音:1	9	ゲ:1 音:2 構:2	1	構:1		
		複数玩具②	3	ゲ:1 音:2	1	ゲ:1				
		テント			3	摸:3				
		ビーズコースター	2	ゲ:2	1	音:1				
		鏡					1	運:1		
		乗り物	7	運:7	5	運:5	2	運:2		
		クッションブロック	3	運:1 構:2	3	構:3	4	構:4	4	構:4
デン	2	運:1 運:1	2	ゲ:1 音:1	4	ゲ:1 摸:3				
その他	5	運:2 他:3	3	運:2 他:1	4	運:2 構:1 他:1				
合計	45		52		27		4			
畳	畳	絵本			2	受:2				
		ぬいぐるみ								
		複数玩具	4	ゲ:4	3	操:3				
		テーブル			3	摸:1 他:2	3	音:3		
		その他	32	運:31 操:1	5	運:4 操:1				
合計	36		13		3		0			

凡例) 運:運動遊び、ゲ:ゲーム遊び、音:音楽遊び、受:受容遊び、構:構築遊び、制:制作遊び、操:操作遊び、摸:模倣遊び、他:その他
 注1) 大南こどもルームの複数玩具コーナーにおける0歳児の行為の種類である「運:2」は、運動遊びを2回行ったことを示す。
 注2) 網掛け部分は、そのコーナーの設定趣旨と同一の行為がなされていたものを示す。

4.4 事例分析

「大南こどもルーム」における、主なコーナーでの遊び行為の場面を図 5 に示す。「ままごと」コーナーでは、複数の異年齢児がテーブルを使って、親と一緒にままごと遊びをする光景が多くみられる（写真 5）。「乳児」コーナーでは、0 歳児がほふくをしている横で 1 歳児以上の幼児が玩具で遊ぶ光景が多くみられるが、親が基本的に横に座って子どもを見守っているため、衝突等の危険はほぼみられない（写真 6）。「絵本」コーナーでは、親がコーナーで子どもに読み聞かせを行う光景が多くみられる一方、隣接する荷物棚の下に置かれた玩具での「ゲーム遊び」や乳児のほふく行為もみられる（写真 7）。

「ひろひろ・ば」での遊び行為の場面を図 6 に示す。「畳スペース」では、コーナー以外のオープンスペースにおいて乳児のほふく行為や、乳児の親同士の交流が多くみられる（写真 8）。「ままごと」コーナーでは、3 方向にままごと用の玩具が置かれ、コの字型の空間となっているため 1 日を通して利用が多く、親が複数の異年齢児や兄弟を相手にままごとをする光景が多くみられる（写真 9）。「乗り物」「クッションブロック」コーナーでは、仕切りがクッションであるため、親が座ってコーナー内で遊ぶ子どもを見守る光景が多くみられた（写真 10）。

5. 結論

本論で得られた知見は以下の通りである。

- 1) プレイルームの床仕上げにフローリングのみを用いた施設では、マットやテーブルを用いて壁際を中心にコーナーが配置されているが、動的な遊び場と静的な遊び場との明確な区分はされていなかった。一方、床仕上げにフローリングと畳を用いた施設では、床仕上げの境界にテントや玩具棚を配置することで、ワンルームでありながら空間を 2 区分しており、畳スペースを主に乳児の過ごす場、フローリングスペースを動的遊びやままごと等の模倣遊びを行う場としていた。
- 2) コーナー別の遊び行為は、床仕上げにフローリングのみを用いた施設において空間内にマットのみを配置した「乳児」コーナーでは、コーナーの境界が曖昧であるため 0 歳児がほふく等を行う横で 1 歳児以上の動的な遊び行為がみられた。一方、フローリングと畳を用いた施設では、畳が明確な境界として認識され、0 歳児と 1 歳児以上の遊ぶ場所が区別されていた。

尚、本研究は平成 26 年度日本建築学会中国支部奨励研究助成を受けたものである。

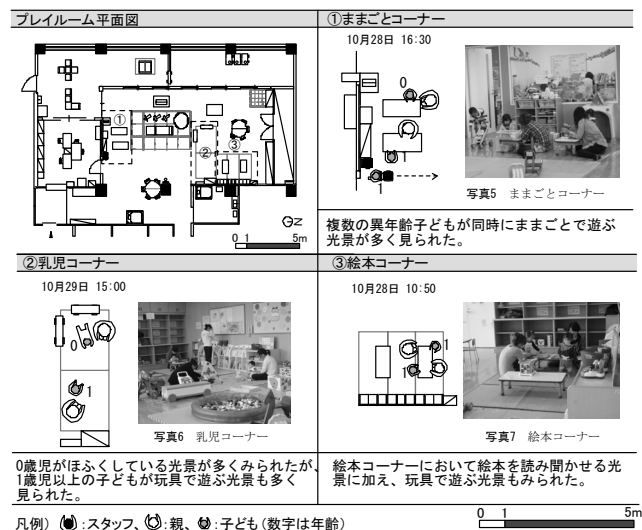


図 5 大南こどもルームでの遊び行為

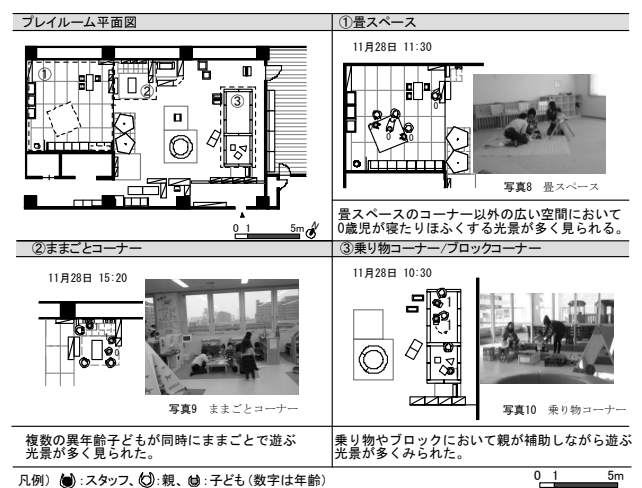


図 6 ひろひろ・ばでの遊び行為

注釈

- 注 1) 「コーナー」とは家具や設えによって場所が明確に区分されているものを示す。
 注 2) 「コーナーの滞在率」の算出方法は、年齢別の各コーナーにおける行為数を年齢別の総行為数で除したものを示す。

$$\text{コーナーの滞在率} = \frac{\text{年齢別の各コーナーにおける行為数}}{\text{年齢別の総行為数}}$$

参考文献

- 1) 西本雅人・河合慎介・今井正次：遊びの行為からみた保育室におけるコーナーの利用特性，日本建築学会計画論文集，第 78 巻，第 688 号，pp. 1257-1264，2013. 6
- 2) 石村芳美・宮本文人：幼稚園の保育室における自由遊びと家具遊具配置計画，日本建築学会大会学術講演梗概集 2012（建築計画），pp. 563-564，2012. 9

* 山口大学大学院理工学研究科 博士前期課程
 ** 山口大学大学院理工学研究科 博士後期課程
 *** 筑波大学システム情報系 助教・博士（工学）
 **** 山口大学大学院理工学研究科 教授・工博

* Graduate Student, Graduate School of Science and Eng., Yamaguchi Univ.
 ** Doctoral Course, Graduate School of Science and Eng., Yamaguchi Univ., M. Eng.
 *** Assistant Prof., Faculty of Engineering, Information and Systems, University of Tsukuba., Dr.Eng.
 **** Prof., Graduate School of Science and Eng., Yamaguchi Univ., Dr.Eng.